

2002年

沖電気沼津地区環境レポート



目 次

沼津地区の概要	2
沼津地区の環境年表〈要点〉	2
1. ご挨拶	3
2. 環境方針	4
3. 事業活動と環境への影響	4
4. 環境保護活動計画	5
5. 環境保護の取組み	5
6. 環境負荷低減活動	6
7. 環境負荷低減活動〈製品設計〉	7
8. 法遵守	8
9. 環境リスクマネジメント	9
10. 環境教育及び訓練	10
11. 内部環境監査	10
12. 地域社会への貢献活動	11

◆沼津地区の概要◆

沼津地区は、沖電気工業ディフェンスシステム本部（沼津生産セツタ）、静岡沖電気並びに関連企業（沖物流セツタ沼津支店、沖デベロップ沼津支店、G O F 他）から構成されています。

	沖電気工業(株)	静岡沖電気(株)
1) 所在地	静岡県沼津市大諏訪 688	静岡県沼津市大諏訪 681-1
2) 工場設立	昭和55年	昭和55年
3) 従業員数	310名	180名
4) 敷地面積	16400㎡（合計）	
5) 延床面積	16000㎡	3000㎡
6) 用途地域	工業地区	
	① 大気汚染防止法：指定区域外	
	② 騒音規制法：第四種区域	
	③ 振動規制法：第二種区域	
	④ 悪臭防止法：A地区	
8) エネルギー管理指定工場	：指定無し	

◆沼津地区の環境年表〈要点〉◆

沼津工場一号館竣工 (静岡沖は操業中)		東京工場集約		ISO9001 認証取得	ISO14001 認証取得			
		1994	1997	1998				
1980年	1985年	1990年	1995年	2000年				
1983 メッキ処理施設廃止 (静岡沖電気)		1992 フロン(洗浄用)全廃	1993 ヒートリクロロエタン (洗浄用)全廃	1996 ゴミ焼却廃止	1997 ジクロロメタン (洗浄用)全廃	1999 ハロン消火器全廃 (二酸化炭素消火器へ)	2001 重油ボイラー廃止 (天然ガスボイラー化)	2001 電動フォークリフト導入

1. ご挨拶

SSCディフェンス本部
沼津生産センタ長
長谷川 徹



沖電気沼津地区環境レポートを発行するにあたり当地区を代表しまして
ご挨拶申し上げます。

当地区は沖電気沼津地区と静岡沖電気(株)で構成されており、霊峰富士と駿河湾に囲まれた自然豊かな静岡県東部の沼津市に位置しております。

1942年より水中聴音機の製造を開始して以来、海洋計測機器、航空管制システム、道路管制システムや通信機器制御、水中音響機器などの生産拠点として操業してまいりました。

1998年環境マネジメントシステムを認証取得し、今年で5年目の環境活動となりました。活動当初は、電力・廃棄物・紙などの削減を重点施策として着実に削減目標を達成してきましたが、一昨年より循環型社会形成推進基本法が制定され国によるリサイクル関連法、グリーン購入法などの法整備が強力に進められてきており企業としても的確なる対応が迫られております。

このような背景をふまえ、2001年度の沼津地区環境活動では、継続施策である電力・紙などの削減はもとより、従来の埋立て処分であった廃棄物をリサイクルできるよう活動を拡大し、ゼロエミッションを目指すとともに、グリーン調達の推進、環境負荷低減製品の開発など、循環型社会の一役を担う活動や中伊豆の森林再生ボランティア、海岸清掃や施設の提供、沼津市環境関連イベントの参加など、地域に密着した環境活動を展開してまいりました。

今後も環境ISOの柱であります「継続的改善」を沼津地区一丸となって推し進める所存であります。

この報告書によりまして当地区の環境活動に対する姿勢と取り組みを皆様方にご理解頂くとともに、率直なるご意見を頂ければ幸いです。

2. 沖電気沼津地区環境方針

沼津地区では以下の様な環境方針を策定し、この方針を基に環境活動に取り組んでいます。

基本理念

当地区は、富士と駿河湾を間近に、自然に恵まれた沼津の地にふさわしい『環境を愛する企業』として、人類共通の重要課題である『地球環境の改善』を、企業活動のあらゆる面において積極的に展開すると共に、一人一人がその継続的改善を推進することを基本理念とする。

行動指針

当地区の主要製品である通信・情報・計測機器を開発・設計／製造していることをふまえ沖電気工業㈱の環境基本方針に従い、以下の方針に基づき環境管理を行う。

1. 当地区の活動、製品、サービス(以下活動等という。)がかかわる環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、環境マネジメントシステムの継続的改善をはかる。
2. 環境関連の法律、規制及び協定、その他要求事項を遵守するとともに、自主管理基準を設定し、環境負荷の削減に努める。
3. 設計・開発段階に於いて、商品の流通、使用、廃棄の各段階における環境影響に配慮し商品の省エネルギー・リサイクル化などの環境負荷を少なくした製品設計を行う。
4. 電力などの省エネルギー化、省資源(紙、梱包材、化学物質等の使用削減)及び 廃棄物の削減・リサイクル化を行う。
5. 緑化活動や施設の提供等を通じ、地域社会との積極的コミュニケーションを図る。
6. この環境方針は、当地区の関係・関連会社を含む全部門・全構成員に周知する。
7. 環境方針は要求に応じて一般の人にも公開する。

3. 事業活動と環境への影響について

沼津地区では、毎年事業活動が環境に与える影響を評価し、結果を環境改善活動に反映しています。2001年度は下記項目が環境に与える影響が大きいとして、上位にランクされました

事業活動が環境に与える影響

順位	項目	環境への影響
1	電力エネルギーの使用	地球温暖化
2	廃棄物(紙・廃プラ等)の廃棄	廃棄物増加
3	コピー用紙等の使用	資源の枯渇
4	鉛はんだの使用	土壌汚染
5	化学物質の使用(接着剤等)	大気汚染

4. 環境保護活動計画

環境方針に定めた事項を具体的に実践し、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、下記目標を定め沼津地区一丸となって活動しています。

活動目標と2001年度実績

区分	目標(例)	2001年度活動実績(例)
省エネルギー化 (CO2・資源削減)	電力使用量(照明・設備他)を98年度比で9%以上(44万Kwh以上)削減する	12%(59万Kwh)削減
省資源化	紙(コピー用紙等)の使用量を98年度比で24%以上(A4サイズ104万枚)削減する	26%削減(A4で114万枚)
	有害化学物質の使用量を前年度比で1%以上削減する	11%削減(13kg)
廃棄物削減	廃棄物(紙・プラスチック・金属他)の最終処分量を98年度比で62%以上削減する	65%削減(57t)
	廃棄物の内リサイクル化率を83%以上にする	リサイクル率 86%
環境負荷を少なくした製品開発	新製品の設計において、積極的に実施する<小型軽量化、省電力化、有害物質不使用リサイクル化、分解容易化>	適用製品、98年度累積で28機種

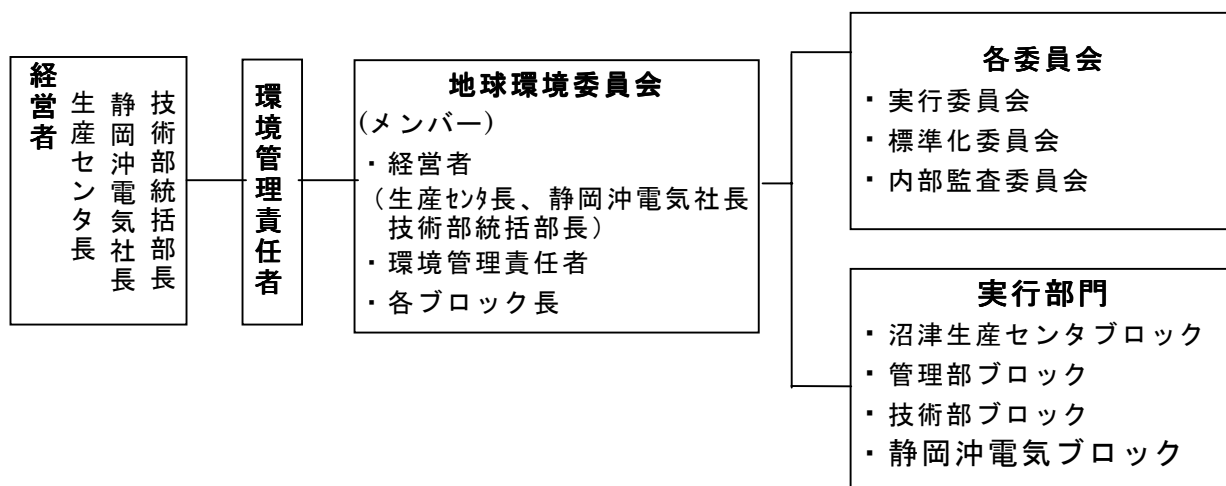
5. 環境保護の取組み

◆環境マネジメントシステム構築(ISO14001の認証取得)

環境に関する方針などを自ら設定し、この達成に向けて取り組むため、工場や事業所での体制手順などを確立し、実行・管理することを環境マネジメントシステムといいます。

沼津地区で構築した環境マネジメントシステムが、国際規格のISO14001の要求事項に適合することが認められ、1998年3月に株式会社日本環境認証機構(JACO)殿の認証を取得しました。

◆推進組織



6. 環境負荷低減活動

◆廃棄物の最終処分（埋立処分）ゼロ化（ゼロミッション化：リサイクル率 99%以上）

沼津地区から発生する廃棄物全ての再資源化に取り組んでいます（2004年までにゼロミッション化）

2001年度は廃プラスチックのリサイクル化に取り組み従来埋立処分していた廃プラスチックをリサイクル化しました。

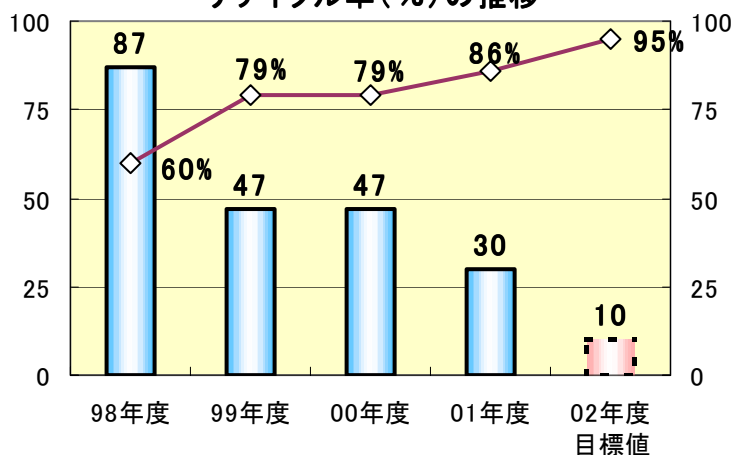
これにより2001年度のリサイクル率は、86%（前年比13%アップ）を達成しました。

2002年度は引き続き、リサイクル率95%以上を目標に取り組みます。

主な取組みは次の通りです。

- 梱包材の再利用（製品梱包に使用）
- 紙・木材のリサイクル化（トレッド・パー・段ボール等）
- 廃プラスチックのリサイクル化
- 廃プラスチック分別ごみ箱の設置（リサイクル化）
- 廃棄物分別マニュアル・分別ポスター作成設置

廃棄物排出量（最終処分量：t）と
リサイクル率（%）の推移



廃プラスチックリサイクル化の取組



職場内の廃プラ分別用箱



廃プラ用分別廃棄所

◆廃棄物の適正処理

廃棄物の処理が適正にされているか定期的（毎年1回）に廃棄物処理業者を訪問し

現地確認調査表によりチェックしています。2001年度も各業者異常ないことを確認しました。



廃油処理委託業者の調査

◆省エネルギーの取組み

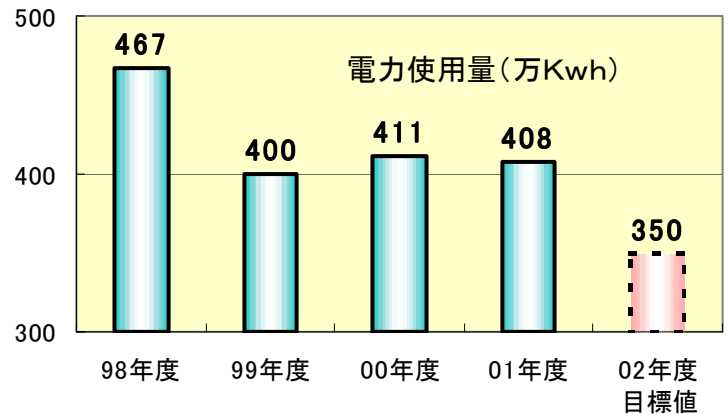
地球温暖化防止に貢献するため省エネルギーに取り組んでいます。

エネルギー全体を占める電力の使用削減を行い、1998年度比で、13%の削減を行いました。

消費電力量推移

主な取組みは次の通りです。

- 昼休み・退社時の消灯、不使用箇所間引き
- OA 機器節電（パソコン、プリンター、サーバー他）
- 空調温度の厳守（夏 28℃、冬 20℃）
- 設備立ち上げ時間の見直し
- 不使用設備の電源OFF



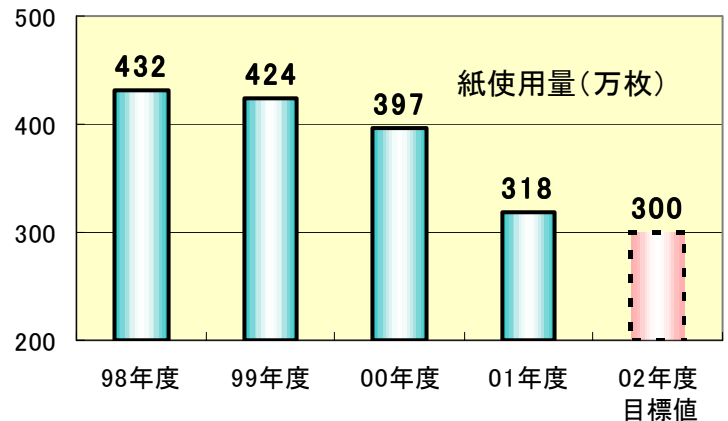
◆コピー紙など紙の使用量削減

森林資源保護の一環として紙類の使用削減に取り組んでいます。

紙使用量推移

主な取組みは次の通りです。

- 両面コピー、裏紙使用
- 伝票関係の電子化
- 図面配布、資料配付の見直し削減
- 会議資料の電子化（スクリーン投影）



7. 環境負荷低減（製品設計）

◆環境に優しい製品の開発

製品は使用時には電力を消費し、使用済み後は廃棄物になるなど、環境へ大きな影響を与えます。

環境への負荷の少ない製品を提供するためには設計段階において、省エネ、省資源、リサイクル性など製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価する必要があります。

このため、沼津地区では製品設計段階に於ける環境影響度の評価方法を制定し、新機種の設計に積極的に適用する事により、環境負荷の少ない製品を提供しております。

又 環境に優しい製品設計と共に、音波応用技術を使用した環境を守る製品の開発・製造も行っております。

右図、音波応用技術を使用した「漏水検知器」
（水資源（水道）の保護）



◆設計段階におけるグリーン商品の採用活動

循環型社会への積極的推進を図るため、グリーン商品の採用活動を推進しております。事務用品・OA機器の採用はもちろんの事、環境に優しい製品の開発にグリーン商品の採用は不可欠です。沼津地区では、以下の様な活動を進めています。


項目	推進内容	結果
1 設計段階の対象プロジェクトでのグリーン商品採用	<ul style="list-style-type: none"> ・測機ブロック 対象PJ; 「T-Y2D」 製品アセスメントに加え、グリーン商品の採用を検討 ・静岡沖ブロック 対象PJ; 「JN14MH2 (ポテト)」 製品アセスメントに加え、グリーン商品の採用を検討 	実施済み
2 設備、備品へのグリーン商品採用	<ul style="list-style-type: none"> ・測機ブロック 設備; 1件 (疑似信号発生器; PC (エネルギースターマーク)) 備品; 5件 (マジックインキ、紙ファイル、袋、芯、のり) ・静岡沖ブロック 設備; 1件 (省エネ空調機) 備品; 5件 (ボックス、キャビネット2種類、分別ボックス、クリヤルター) 	実施済み
3 技術部内へ設計時のグリーン購入に関する配慮を啓蒙 (測機、静岡沖技術)	<ul style="list-style-type: none"> ①環境への負荷が少ない製品設計 (製品アセスメントの実施) の再認識 ②グリーン商品の採用検討の啓蒙 (グリーン購入関連の資料配布) 「はじめましょう、グリーン購入 (GNP事務局)」 ③グリーン商品データベースの紹介 (GNPデータベース、部品技術部の有害物質含有情報) 	実施済み
4 製品アセスメント実施規定」にグリーン商品採用検討を追加 ・ PQS設 2050 ・ ATS901-8059	<ul style="list-style-type: none"> ①本文にグリーン購入、グリーン商品の説明 ②解説にグリーン購入、グリーン商品採用検討追加 ③チェックリストに追加 ④PQS改訂までの実施方法… 各技術部方針として別紙チェックリスト案で実行を指示 	PQS、ATS改訂時 4月1日

8. 法遵守

8-1 環境法情報の入手と規定の改正

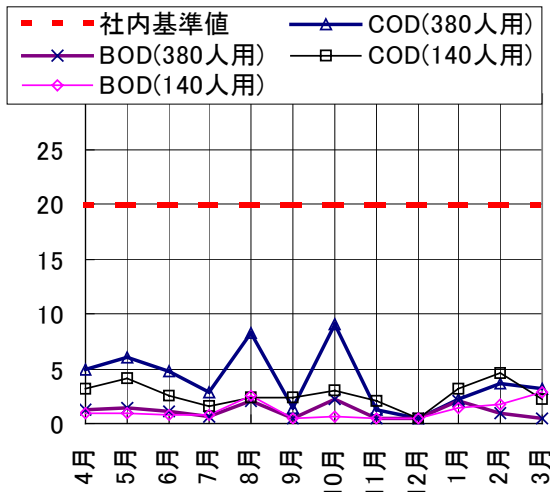
法遵守のためには、法律の制定改訂、廃止などの情報をタイムリーに入手し、関連規定の改正及び従業員への周知・教育を行っています。

2001年度は沼津地区に関係する、下記環境関連法規改定の対応をしました。

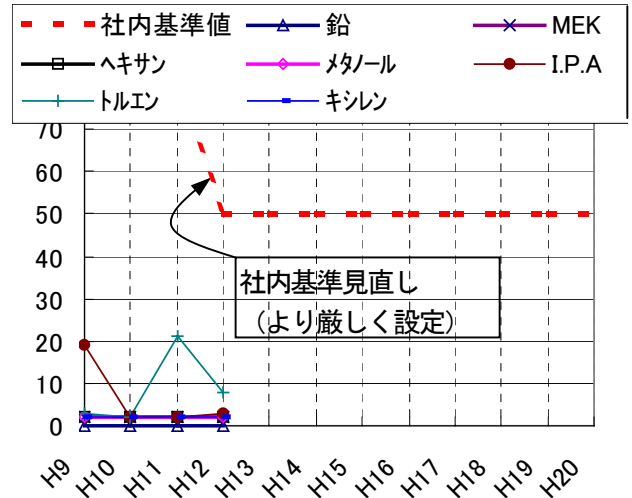
環境関連法規等	法律の要求事項	処置
資源の有効な利用の促進に関する法律	使用済み小型2次電池の回収をする Ni-Cd, Ni-水素, リチウム, 小型シール鉛蓄電池	左記2次電池の専用回収BOXの設置 (全14ヶ所)
食品リサイクル法	食品関連事業者 (沼津地区では、GOFが該当) ① 再生利用率を平成18年度までに20%向上させる (平成13年基準) ② 食品廃棄物等の発生と再生利用を把握し記録する	 記録実施中
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約書の保存期間を5年とする	廃棄物管理規定 NES-4515改訂・教育実施

8-2 環境測定 自主管理基準の設定と管理

環境関連の法規遵守に当たり、法規制値より厳しい自主管理値を定め、継続的に管理しています（以下例）



工場排水分析



有害物質〈大気〉分析（コーティング装置の排気ダクト分析）

9. 環境リスクマネジメント

沼津地区には、一部の暖房用と給湯用に重油ボイラーを使用していました。燃料である重油のタンクは敷地の都合上地下タンクとしていました。しかし、地下タンクは環境リスクを考えると、地震などでタンクが破損し、地下に重油が流出した場合多大な環境影響を与えます。

このため、2001年5月に重油を一切廃止して、環境に優しいエネルギーである、天然ガスボイラーに切り替えました。

重油ボイラー〈旧〉



重油地下タンク〈旧〉（5,000ℓ）



天然ガスボイラー〈新設〉



タンク内の重油は全て抜き、内部の完全洗浄を実施。

10. 環境教育及び訓練

◆一般教育

全従業員を対象に、

- ・ 環境方針の周知徹底
 - ・ 環境マネジメントシステムの重要性
 - ・ 緊急事態への備え
- に関する教育を実施しています

◆緊急時の訓練

作業の従事者を対象に、作業に於ける緊急事態を想定（運搬時の薬品こぼし他）、その未然防止の手順・発生した場合の処置を手順書として作成。これに基づいた実施訓練を定期的実施しております。



想定訓練〈薬品こぼしの処置〉

◆資格取得教育

(1) 法令等で定められた資格者を養成しています

例：（危険物取扱者）

（有機溶剤作業主任者）

（特定化学物質等作業主任者）他

(2) 内部環境監査員を養成しています

〈内部環境監査員 計30名〉

11. 環境監査

環境マネジメントシステムで定めた目標が達成されているか、あるいは法遵守がされているかチェックするため、年1回、内部環境監査を実施しています。

2001年度の内部環境監査では計5件の指摘を抽出し、全てを改善しました



内部監査風景（化学物質運搬手順の監査）

12. 地域社会への貢献活動

工場周辺道路・側溝の清掃、駐車場の草むしりなどを定期的に行っています。

又、地域環境活動の積極的参加として、中伊豆森林再生（ボランティア活動）、沼津市主催環境イベントへの参加を実施しています。



会社周辺の清掃活動（5月）



中伊豆の森林再生活動（11月）



市主催環境活動展示コーナーへ出展（1月）



市主催家庭版 ISO 活動での表彰（8月）

◆ お問い合わせ先 ◆

（担当職場名） 沖電気ディフェンスシステム本部（沼津地区）
品質管理部 品質管理第二チーム
（郵便番号） 410-0873
（住所） 静岡県沼津市大諏訪688
（TEL：） （直）0559-26-6330
（FAX：） 0559-26-6420
（e-mail） watanabe768@oki.com